

ゆりが丘まちづくり会議

第2回健康くらし分科会 会議概要

○分科会について

今年度は検討事項が多岐に渡ることから分科会に分けて、検討を行っていきます。

土地利用・交通分科会：区長、町内会長が中心

健康くらし分科会：地域の有志の方々中心

令和7年8月28日（木）19：00 より、ゆりが丘公民館会議室でゆりが丘まちづくり会議第2回健康くらし分科会を行いました。

会議の結果・概要は以下のとおりです

(1) ビジョンについて

・健康くらし分科会のビジョンは、以下とすることを確認。

① 健康なまち ②安全・安心なまち ③生活に便利なまち ④楽しみのあるまち

(2) 海が見える丘公園の社会実験について

1) 社会実験の目的

- ・社会実験で得たい成果を明確にし、まずは「やってよかったか」を確認し、その上で改善点を明らかにすることが重要である。
- ・社会実験の意義は単にイベントを行うことではなく、公園の魅力を発信し、その価値や活用の方角性を検討することである。
- ・社会実験の結果を踏まえて、将来的にはイベントの定期開催など継続的な取り組みに発展させることが重要である。

2) キッチンカー出店の定期開催

- ・公園にはキッチンカー出店のニーズがあり、それが公園での滞在や活用促進につながる。
- ・通常は公園に出店できないが、毎週末などの定期的な仕組みを見出せば、継続的に出店可能となる。
- ・年に1～2回ではなく、毎週末など定期的に実施できれば、継続的に人を呼び込める。

3) アンケート設計

- ・老朽化遊具の更新や新規導入時には、実験やアンケート結果を参考にできる。
- ・調査項目を明確にすれば、利用実態や満足度の把握・改善につながる。

4) 仕掛けづくり

- ・「行ってみたい」と思わせる仕掛けやスポットをつくることが重要である。
- ・「海が見える丘公園」という名称なのに、海が見える場所が分かりづらい。
- ・実際に奥に進むと景色が良く、ゆっくりできる場所があるため、そこへの誘導が必要である。

5) 尚絅大学との連携

- ・大学側の参加はゼミ単位での活動が現実的で、教員の手承があれば参加可能である。
- ・10月4日の社会実験は、開催までの時間が限られているため、大学側との深い議論を行うのは厳しい。
- ・「10月にこういうイベントがあるので、企画ややってみたいことがあれば教えてください」という形で学生への参加を促すきっかけづくりを行うのが良い。
- ・2回目以降は、企画やアイデアを提案してもらうことが望ましい。

6) 周知方法

- ・回覧板は時間がかかり、周知が不十分になる。
- ・各公民館に大判ポスターを掲示することが望ましい。
- ・子育て世代以外に届けるために、公民館や地域の掲示板、コンビニ前など人の目に触れやすい場所への掲示が効果的である。

7) 今後のスケジュール・企画検討

- ・10月4日の次は11月下旬～12月初旬を検討している。
- ・寒い時期だからこそ楽しめる企画(焚火やサツマイモ)を検討している。
- ・趣旨が「寒い時期を活かす」なら12月初旬でも良い。
- ・他のイベントとの日程重複回避が必要である。

(3) まちづくり会議委員の募集（チラシ）について

- ・健康くらし分科会のメンバー募集に焦点を当てた方が良い。
 - ・途中からでも参加可能であることが分かる記載を入れた方が良い。
 - ・ビジョンを記載し、その実現のためにまちづくり会議が必要であることを盛り込む。
 - ・活動紹介は写真付きにすることで、様子を伝える。
 - ・LINE ネットワークをつくり、各グループを経由して一斉連絡をする仕組みをつくることが考えられる。
-